

ネットワーク対応 4回線音声応答装置 AT-4000N



概要	P2
システム構成	P3~P7
AT-4000N本体で登録できる項目について	P8
ネットワーク操作での可能機能について	P9
メッセージについて	P10~P11
AT-4000運用開始までの流れ（本体編）	P12
年月日時刻設定について	P13
応答メッセージ録音について	P14
AT-4000運用開始までの流れ（制御用パソコン編）	P15
データ入力ソフトのインストールと起動	P16~P18
メッセージ編集	P19
スケジュール編集	P20~P21
機能登録	P22~P24
データ書き込み	P25~P28
PC設定	P29
本体操作	P30~P31
AT-4000N主な仕様	P32~P33
制御用パソコンの主な仕様	P34
タカコム支店・営業所のご案内	P35

◀機能概要▶

AT-4000Nは、電話回線に接続します。着信があると自動的に応答し、あらかじめ録音したメッセージを送出することができる4回線対応の音声応答装置です。パソコンを利用し専用ソフト（データ入カソフト）をインストールし、プログラム設定することにより、音声合成機能を利用したメッセージ作成、装置の応答セット・解除、チャンネル指定などの年間タイマーを利用することができます。また、年間タイマーを利用せず手動操作での運用も可能です。

パソコンを利用しての操作は、ネットワークを介して直接本装置へ登録する方法と、SDカードを利用しての登録方法があります。SDカード利用の際、ご利用のパソコンに差し込み口が無い場合は市販品の「カードリーダー」が必要になる場合がございます。 ※AT-4000Nについては以下「本装置」、専用ソフトをインストールしたパソコンについては、以下「制御用パソコン」と記載します。

◆主な機能

- ★音声編集、スケジュール編集等がネットワークによる遠隔操作ができます。
- ★全回線頭出し再生ができます。
- ★案内メッセージは、本装置（SDカード）に最大20種類、最大100分（全チャンネル合計）録音できます。
※その他のメッセージとして、挨拶メッセージ（1ch）、終了メッセージ（1ch）、保留音（1ch）で計23種類となります。
- ★音声合成機能を利用し、テキスト入力にてメッセージ作成が可能です。
- ★年間タイマーにより年間を通して応答のセット・解除、メッセージの切替などができます。
- ★電話回線を利用してリモコン操作による「応答セット・解除」「メッセージ切替」「メッセージ録音・再生」ができます。
- ★交換機、ビジネスホンなどの外部保留音原装置として使用できます。
- ★ネットワークを介して回線状態の動作モニターができます。
- ★集計機能
- ★外部制御機能（メーク接点による応答セット機能）
- ★NTPサーバによる時刻修正機能および制御用パソコンの時刻に本装置の時刻を合わせることができます。

※正確な時刻で運用するためにNTPサーバの設置を推奨します。NTPサーバでの運用ができない場合は、定期的に制御用パソコン操作での時刻修正を推奨します。

システム構成 (1/5)

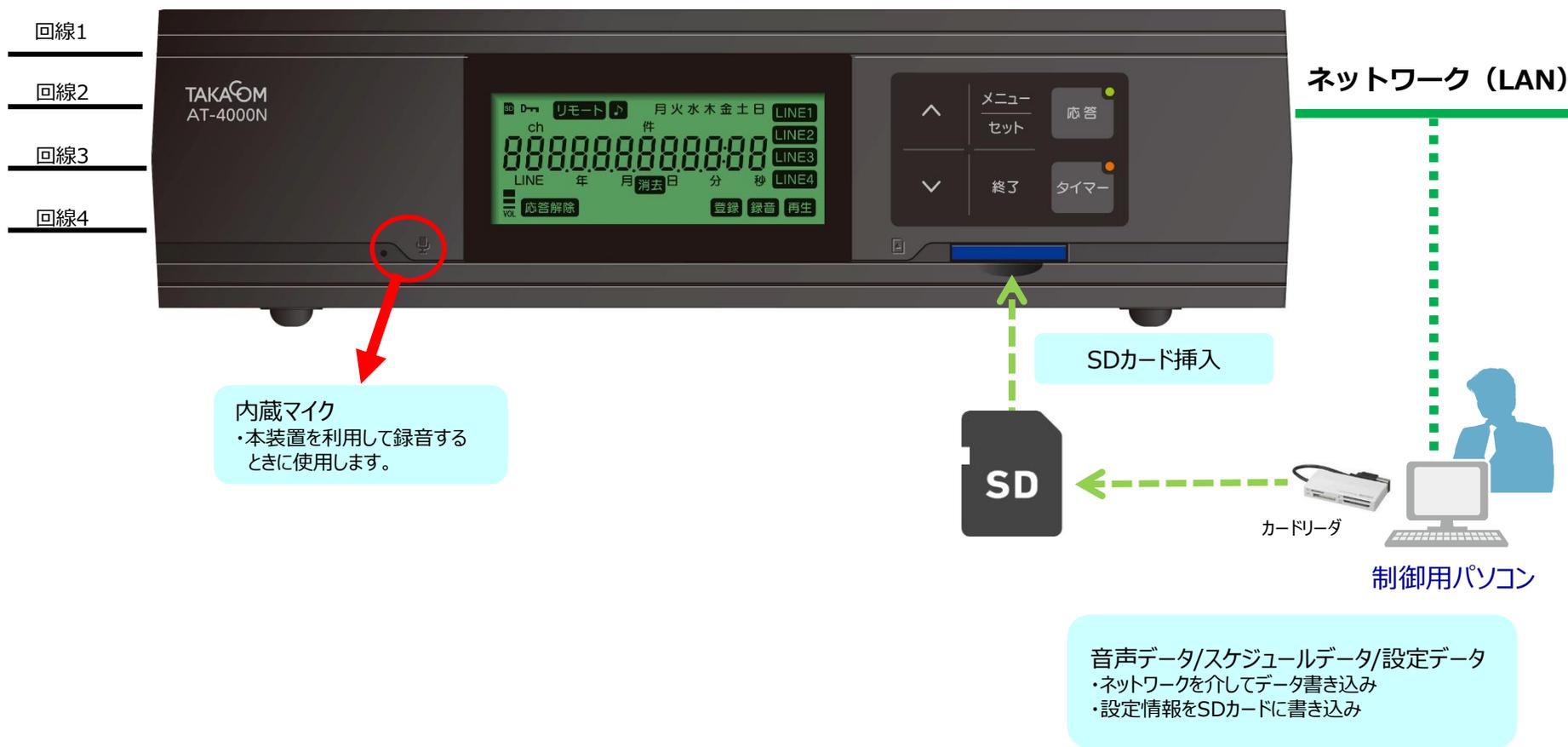
回線種別：一般アナログ回線

各種設定：音声合成機能、プログラムタイマー、各種設定をする場合は、専用ソフトをインストールした制御用パソコンより操作します。本装置への登録はネットワーク（LAN）またはSDカードを利用します。

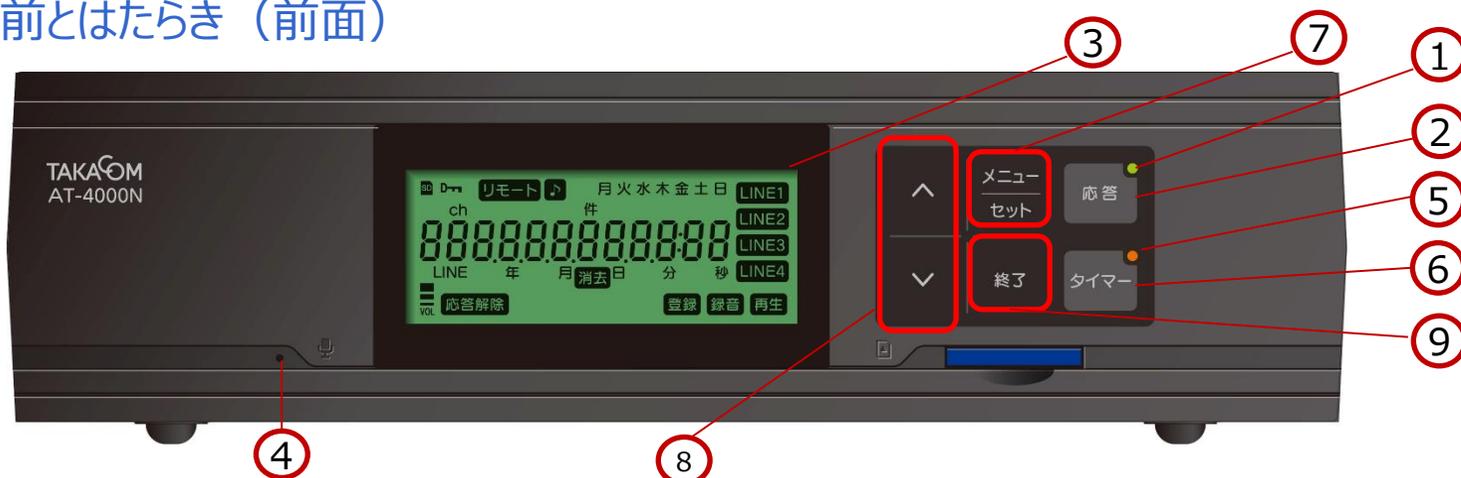
※ネットワークを利用せずSDカードを利用する場合、市販品のカードリーダーが必要になる場合があります。

音声合成機能、プログラムタイマーを利用しない場合においても機能制限はありますが、基本運用は可能です。

（応答メッセージの録音、送出チャンネル設定は本装置で操作できます）



◆各部の名前とはたらき (前面)

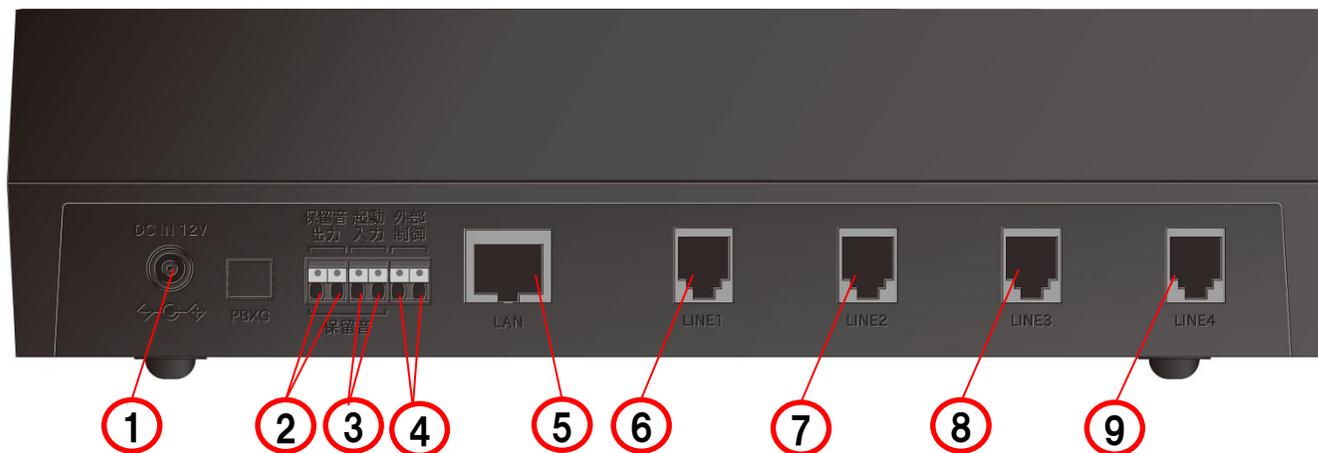


【ランプ状態一覧】

名前	機能
①応答ランプ	応答モードのとき点灯します。
②応答ボタン	応答モードにするときに押します。
③ディスプレイ	現在時刻、応答ch、着信件数、回線状態、保留音送出状態、各種設定時にはその内容を表示し、録音再生中は秒数を表示します。
④内蔵マイク	内蔵マイク開口部です
⑤タイマーランプ	プログラムタイマーモード使用時に点灯します。
⑥タイマーボタン	プログラムタイマーモードにするときに押します。
⑦メニュー/セットボタン	本装置の設定登録するときに使用します。
⑧矢印ボタン	項目などを選択するときに押します。
⑨終了ボタン	本装置の操作等を終了するときに押します。

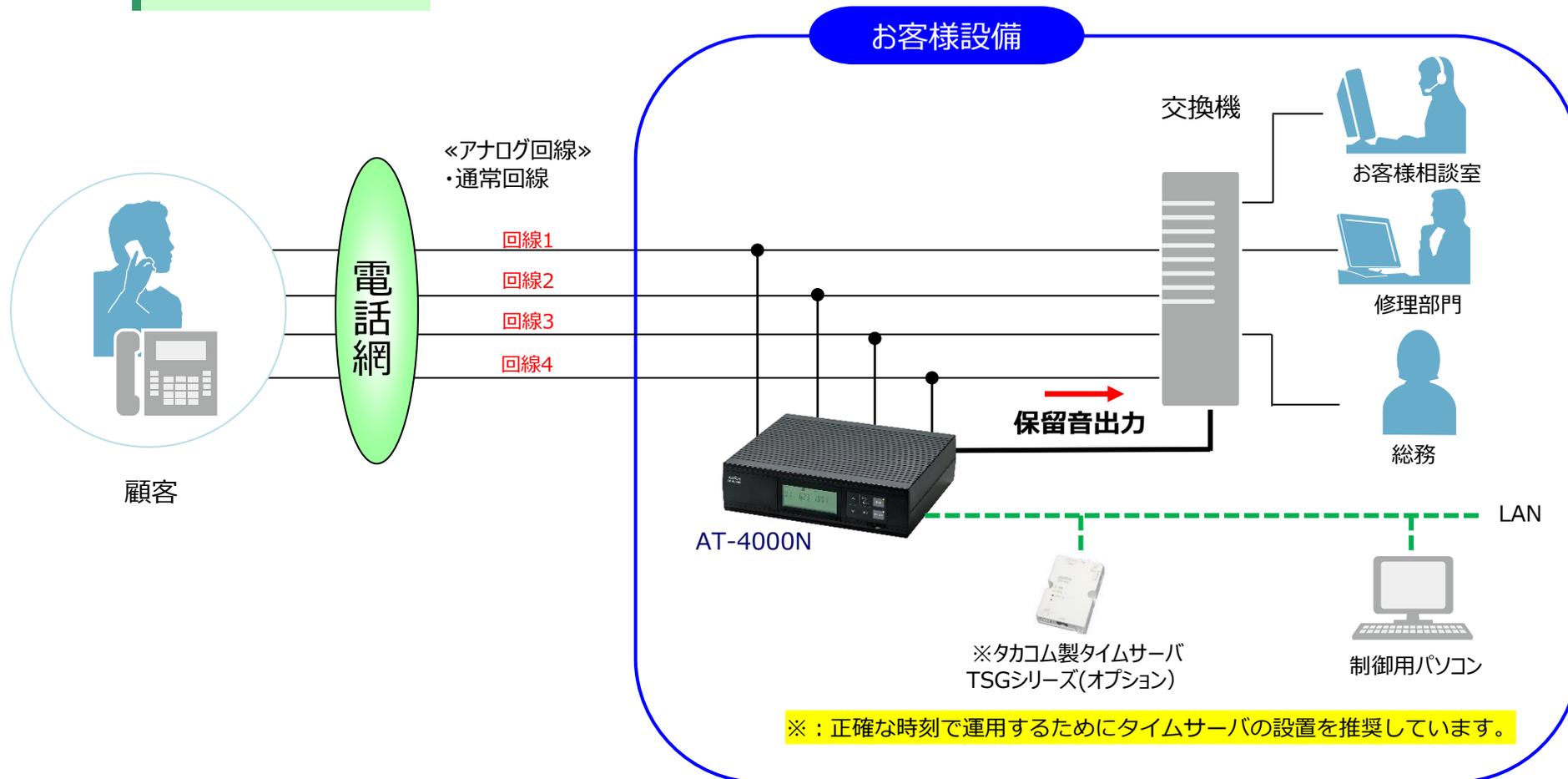
ランプ表示		動作状態	
応答ランプ	タイマランプ	応答	タイマー
点灯	消灯	ON	OFF
点灯	点灯	ON	ON
消灯	点灯	OFF	ON
消灯	消灯	OFF	OFF
点滅	消灯	OFF 応答中の 回線あり	OFF

◆各部の名前とはたらき (後面)



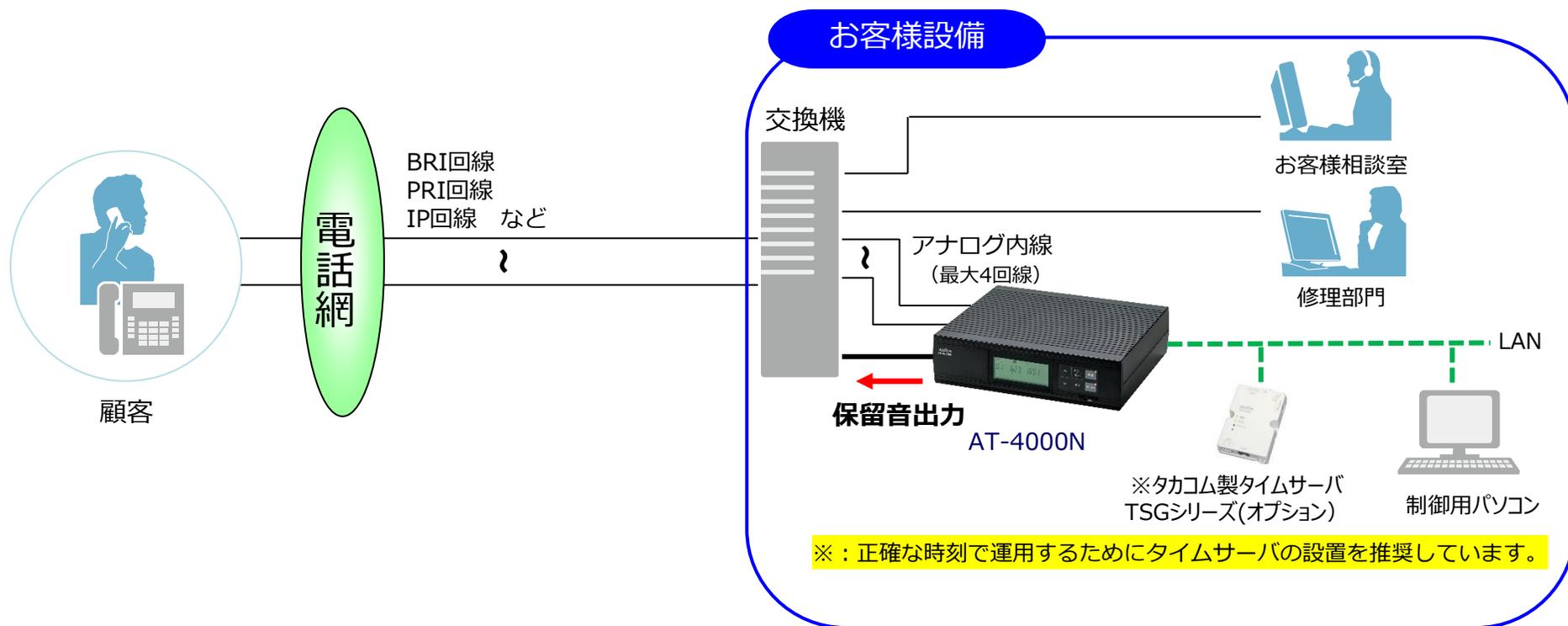
名前	機能
①電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続します。
②保留音出力端子	保留音用メッセージをビジネスホンや交換機へ出力します。
③保留音起動入力端子	ビジネスホンや交換機からの、保留音起動信号を接続します。
④外部制御端子	応答の入り/ 切りを外部から行うときに、切り替え信号を接続します。 (タイマセット中は制御の受付はできません)
⑤LAN接続ジャック	本装置をネットワーク (LAN) に接続して使用するとき、LANケーブルを接続するジャックです。
⑥回線接続ジャック1	電話回線を接続します。 ※回線に並列接続する場合は、別途分岐コネクタが必要になります。
⑦回線接続ジャック2	
⑧回線接続ジャック3	
⑨回線接続ジャック4	

外線接続例



- ・顧客からの電話を外線接続されているAT-4000Nが応答し、メッセージを送出します。
- ・交換機に対して保留音を出力します。

内線接続例



- 顧客からの電話を内線接続されているAT-4000Nが応答し、メッセージを送出します。
- 交換機に対して保留音を出力します。

AT-4000N本体で登録できる項目について

機能登録は、制御用パソコン（データ入力ソフト）操作（ネットワークまたはSDカード経由）から行いますが、AT-4000N直接操作にて登録できる項目は下記になります。

項目	項目番号	機能内容	制御用パソコン操作
時刻設定	P01	2000年～2099年 1月～12月 1～31日 00時～23時 00分～59分	○※
IPアドレス	P02	初期値：192.168.0.150	×
サブネットマスク	P03	初期値：255.255.255.0	×
デフォルトゲートウェイ	P04	初期値：0.0.0.0	×
ポート番号	P05	初期値：55500	×
保留音音量	P06	7段階調整可能	×

※制御用パソコンの時刻修正操作においても登録可能です。（PC時刻に合わせる修正またはNTPサーバによる修正になります。）

●登録以外の操作として下記操作も可能です。

①録音操作 ②再生操作 ③応答セット/解除 ④タイマーセット/解除 ⑤log出力（SDカードへ出力） ⑥着信件数確認

ネットワーク操作での可能機能について

ネットワークを利用しての遠隔操作が可能な機能については下記になります。
操作については、添付のAT-4000Nデータ入力ソフトを利用します。

項目	機能内容
応答メッセージ登録	作成した音声の登録が可能 ・音声合成 ・音声録音（制御用パソコンでの録音） ・音声取込（外部作成音声）
スケジュール登録	作成したスケジュールの登録が可能 ・登録した月から20年先まで登録可能
機能設定	AT-4000Nの基本となる設定の登録が可能
集計機能	回線毎および全回線合計の件数を確認することが可能です。
ログビューア	応答セット解除動作等に対して操作ログの確認ができます。
回線モニター機能	各回線の状態および、応答セット期間中の応答件数を確認することが可能です。 ・待機中表示 ・着信中表示 応答中表示
装置情報機能	装置状態を確認することが可能です。 ・応答セット/解除状態 ・タイマーセット/解除状態 ・メッセージ送出ch
応答・タイマーセット/解除の制御機能	応答セット/解除、タイマーセット/解除操作が可能です。 応答セット操作においては、メッセージch変更操作も可能です。（タイマセット時のch変更はできません）
時刻修正機能	2つの修正方法が可能です。 ・NTPサーバを利用しての修正 ・AT-4000Nの時刻を制御用パソコンの時刻に合わせる修正

メッセージについて (1/2)

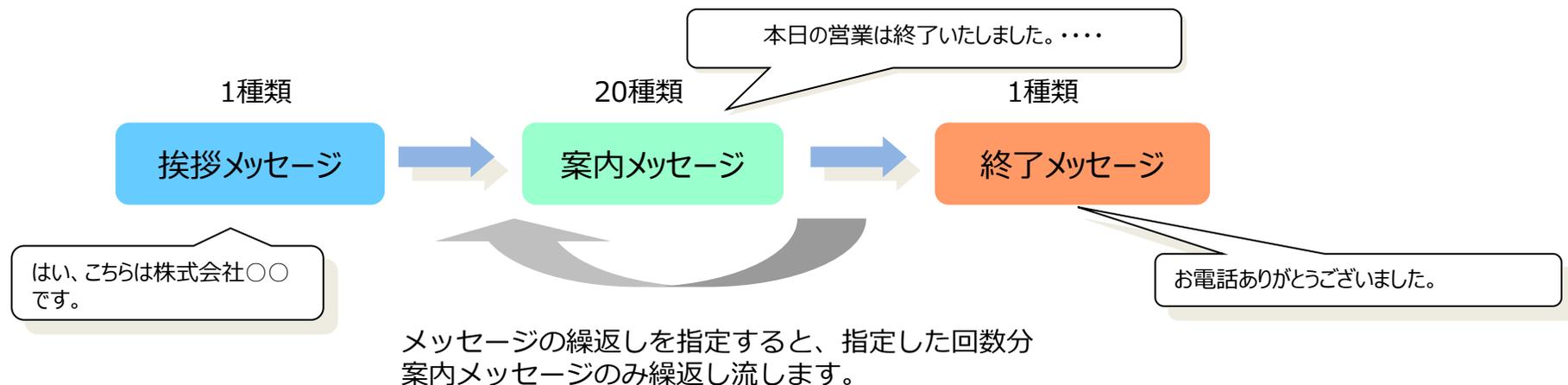
◆ 本体に最大100分、23種類の案内メッセージ録音可能

メッセージは、本装置（SDカード）に記録されます。パソコンで作成したメッセージは、ネットワーク（LAN）経由または、SDカードに書き込みます。 ※ネットワークを利用せずSDカードを利用する場合、市販品のカードリーダーが必要になる場合があります。

「メッセージの種類」

- ・案内メッセージ : 1ch～20ch あらかじめチャネル番号を、指定して回線に流します。
- ・挨拶メッセージ : 1ch 案内メッセージの前に流れます。録音していない場合は流れません。
- ・終了メッセージ : 1ch 案内メッセージの後に流れます。録音していない場合は流れません。
- ・保留音メッセージ : 1ch 交換機、ビジネスホンの保留音用として流れます。

メッセージ送例

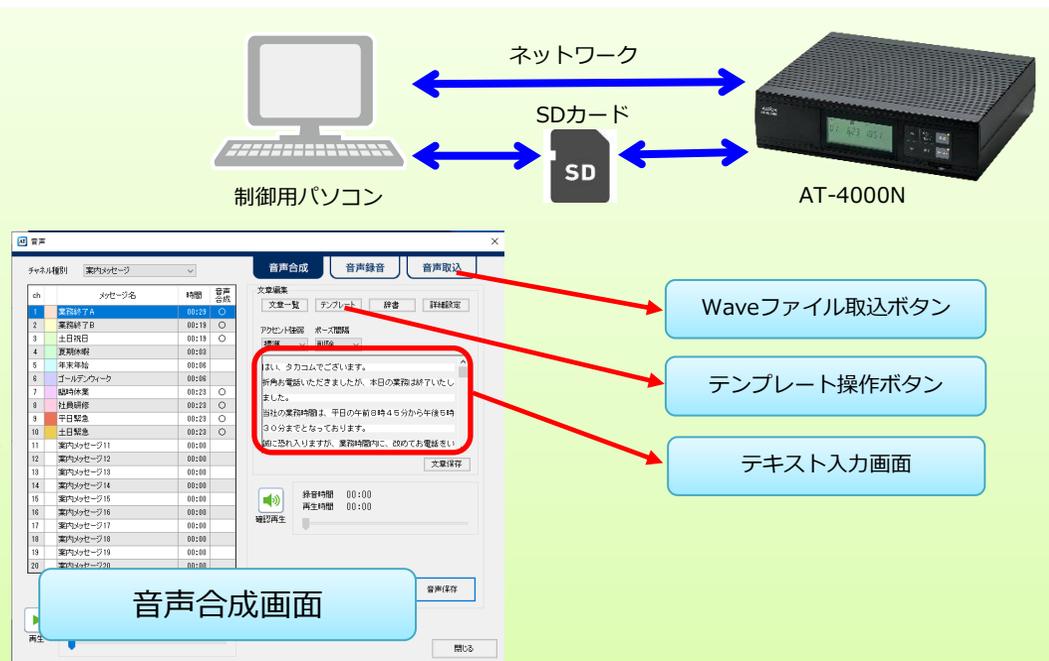


メッセージについて (2/2)

メッセージ作成は、制御パソコンを利用しての操作、または本体装置(AT-4000N)の操作でできます。
お客様にあった方法にてメッセージが作成できます。

パソコンを利用しての操作 (専用入カソフトを利用)

1. (音声合成機能を利用) テキスト入力してのメッセージ作成
2. (音声合成機能を利用) テンプレート操作にてメッセージ作成
3. Waveファイルを取込みして作成



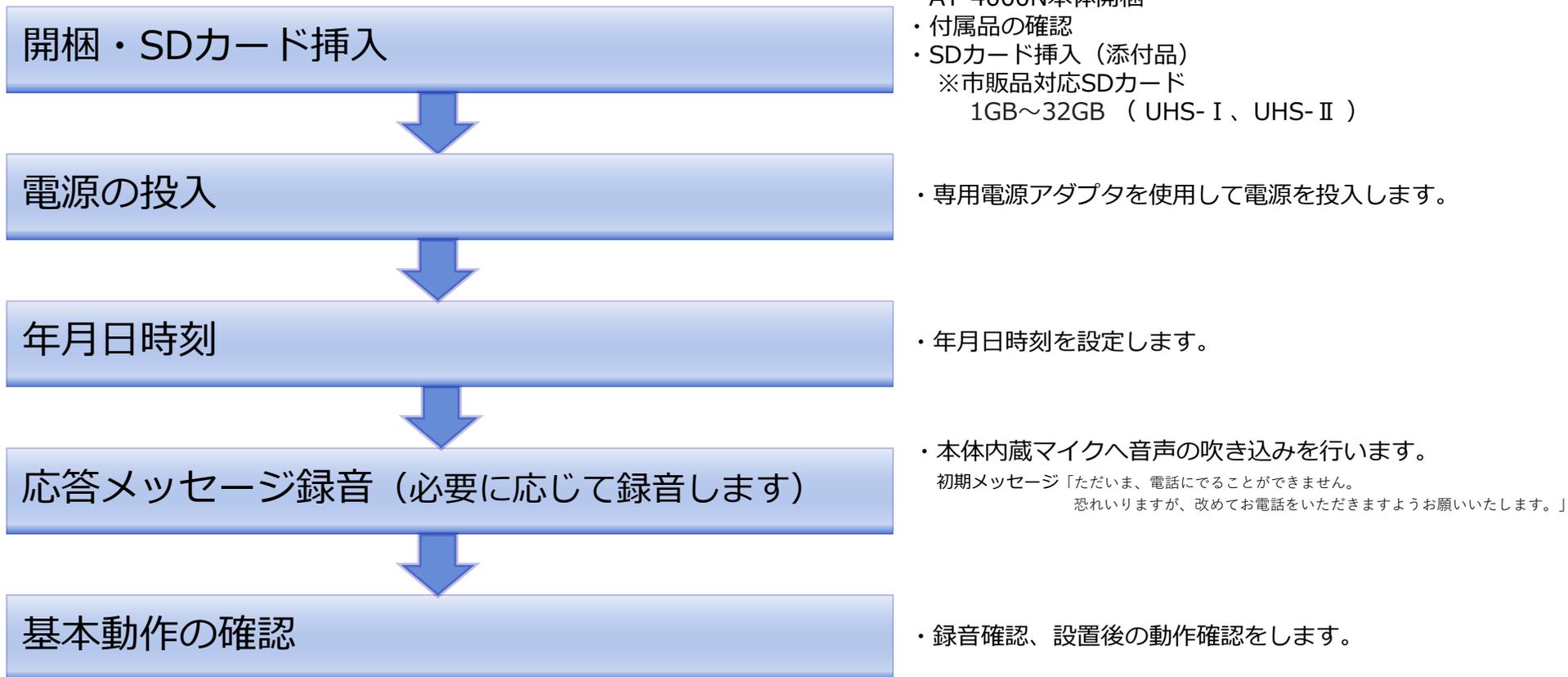
AT-4000Nデータ入カソフトを利用しての操作で簡単に作成

本体装置の操作

4. 直接内蔵マイクを利用してメッセージ作成

◆本装置だけでご使用になる場合

本装置の「リモコン機能」「タイマー機能」などを使用しないで、「留守機能」のみで運用される場合は、本装置だけでご使用になれます。



年月日時刻設定について

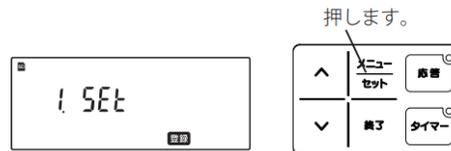
内蔵の時計に、現在の年月日付と時刻を登録します。時計を登録すると、用件が録音された日付と時刻（タイムスタンプ）をディスプレイに表示したり、タイマーで自動的に留守セットをするなどができます。例）：2021年6月18日 14時40分に合わせます。
下記1～8項を本装置のボタン操作で設定をおこないます。

1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



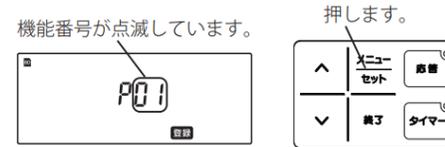
・メニュー画面（登録）が表示されます。

2 **メニュー/セット** を押します。



・機能番号選択表示になります。

3 **メニュー/セット** を押します。



・年が点滅します。

4 **↑** や **↓** を押して、年を合わせます。



・年が点滅します。

5 **メニュー/セット** を押します。



・月が点滅します。

6 手順4, 5を繰り返して、月・日・時・分を合わせます。



・対象箇所が点滅します。

7 **メニュー/セット** を押します。



・「ピー」となって年月日・時刻が登録されます。
・機能番号選択表示になります。

8 **終了** を2回押します。



・待機画面が表示されます。



・曜日は自動表示されます。

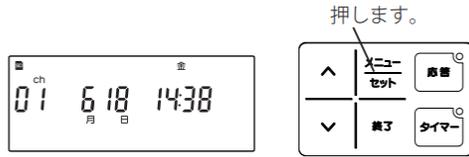
ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：西暦 2000年～2099年
月：1月～12月
日：1日～31日（年月に対応した最大日）
時：00時～23時の24時間制
分：00分～59分
- お買い上げ時は、当日の年月日・時刻を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。

応答メッセージ録音について

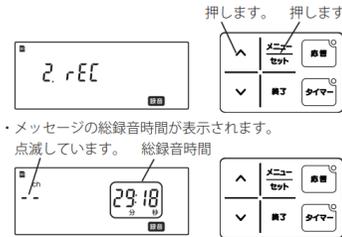
本装置はマイクを内蔵しているため、特別な録音用の機器を接続しなくても録音ができます。録音するときは、内蔵マイクから20~30cmの距離で話してください。

1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



・メニュー画面（登録）が表示されます。

2 **↑** を押して、メニュー画面（録音）を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



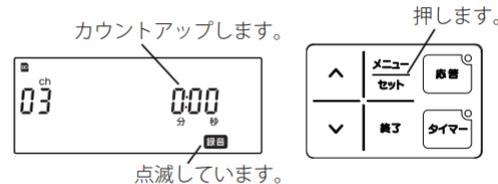
・メッセージの総録音時間が表示されます。点滅しています。 総録音時間

3 **↑** や **↓** を押して、録音する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。



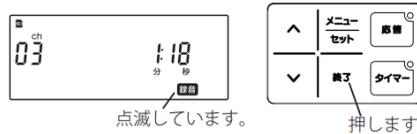
・録音時間が点滅します。

4 **メニュー/セット** を押すと録音が始まります。



・録音 が点滅して、録音時間がカウントされます。

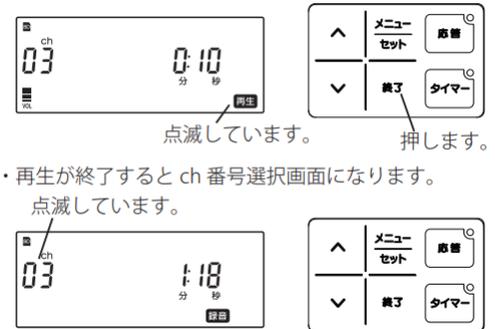
5 **終了** を押して録音を終了します。



・総録音時間が100分になると **終了** を押さなくても自動で録音が終了します。

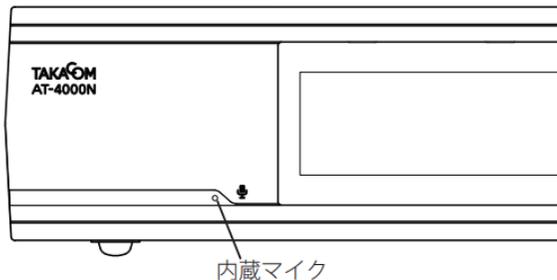
・録音が終了すると自動でメッセージが再生されます。

6 **終了** を押して再生を終了します。



・再生が終了すると ch 番号選択画面になります。点滅しています。

内蔵マイクの位置



内蔵マイク

◆ 制御用パソコンをご使用になる場合

本装置を、留守応答や留守録音などの「留守機能」以外に、「リモコン機能」「タイマー機能」などの各機能を使用して運用される場合は、本装置と制御用パソコンを使用します。

開梱後データ入力ソフトのインストールと起動

- ・ AT-4000N本体開梱
- ・ 付属品の確認
- ・ データ入力ソフト (DVD) を使用

メッセージ編集 (音声合成・録音再生・音声取込)

- ・ 送出する音声の作成、使用するchへの割付設定

スケジュール編集 (タイマー設定)

- ・ 曜日スケジュール設定
- ・ 年間スケジュール設定

機能登録 (ベル回数など詳細設定)

- ・ 回線設定
- ・ リモコン設定
- ・ 回線保留設定など

データ書込み (SDカード/装置書き込み/印刷/ファイル保存)

- ・ SDカードへの書込み
- ・ 装置への書き込み
- ・ 印刷
- ・ ファイル保存 (PCへの保存)

本体操作 (電源投入・SDカード挿入・年月日時刻他設定)

- ・ 専用電源アダプタを使用して電源を投入します。
- ・ データ保存したSDカードを挿入します。
- ・ 年月日時刻設定をします。
- ・ LAN経由で接続する場合は、装置情報の登録をします。

PC設定 (本装置とLAN経由で設定する際の登録)

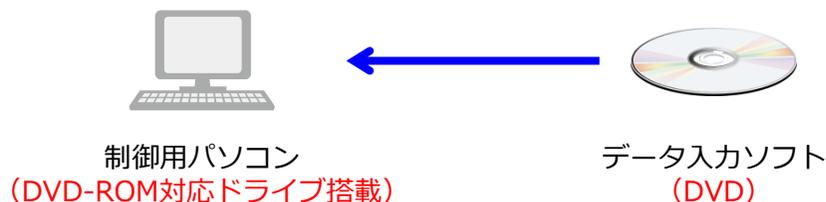
- ・ 装置情報設定

基本動作確認

- ・ 録音確認、設置後の動作確認をします。

データ入力ソフトのインストールと起動 (1/3)

お手持ちのパソコンが下記記載の仕様に合っているかお確かめください。ご確認後、添付品のDVDからAT-4000Nデータ入力ソフトをインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行ってください。



◆ 制御用パソコンの推奨仕様

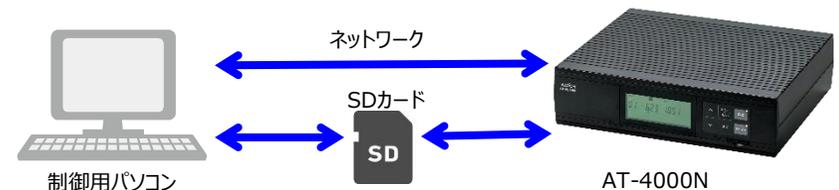
項目	内容
OS	Microsoft Windows 11/10 日本語版 ※Windows 11/10 (Sモード) は対象外となります
CPU	OSが推奨する環境以上
メモリ	2GB以上
ハードディスク	1.3GB以上の空き容量
サウンド	Waveファイルが再生できること
ディスプレイ	1024×768以上 High Color (16bit) 以上
DVDドライブ	DVDが読めること (データ入力ソフト インストール用)
SDカードスロット	SDカードの読み書きができること (データ作成用)
ネットワーク(LAN)	TCP/IPでLAN/WAN接続ができること

データ入力ソフトのインストールと起動 (2/3)

◆データ作成

「AT-4000Nデータ入力ソフト」をインストールしたパソコンを利用します。データの作成方法は新規に作成する方法と、既存のデータを編集する方法があります。
作成したデータの本装置への登録はネットワーク（LAN）またはSDカードを利用します。

【初期画面（データ作成画面）】



新規にスケジュールデータを作成するときに[新規作成]ボタンをクリックして、画面指示に従って操作をします。

SDカードに編集するファイルデータが保存されている場合[SD読み込み]ボタンをクリックし読み込み操作を画面指示に従って操作をします。

本装置から編集するときに[装置読み込み]ボタンをクリックし（ネットワーク経由）読み込み操作を画面指示に従って操作をします。

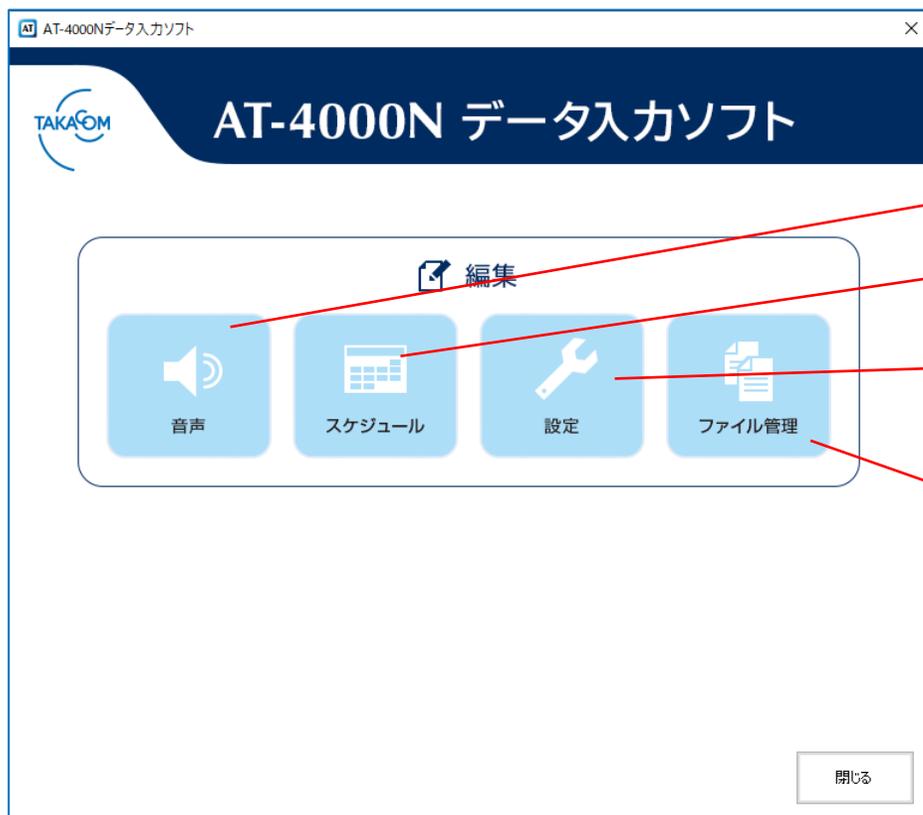
制御用パソコンに編集するファイルデータが保存されている場合に[ファイル読み込み]ボタンをクリックし読み込み操作を画面指示に従って操作をします。

制御用パソコンとネットワークで接続する本装置を登録（追加）するときにクリックして画面指示に従って操作をします。**最大10台まで登録は可能です。**

・データ作成 →編集

新規データの作成、既存のデータ（SDカード/保存ファイル/本装置）からの編集も可能です。

【編集画面】



音声合成等機能を利用してメッセージの編集する場合に[音声]ボタンをクリックし画面指示に従って操作します。

タイマーなどのスケジュールの編集する場合に[スケジュール]ボタンをクリックし画面指示に従って操作します。

本装置の機能設定の編集する場合に[設定] ボタンをクリックし画面指示に従って操作します。

編集作業で作成したデータの保存先を指定する場合に[ファイル管理]ボタンをクリックし画面指示に従って操作します。

編集 - 音声 -

音声編集画面より[音声合成][音声録音][音声取込]3種類の方法で音声編集の操作ができます。
チャンネル種別の案内メッセージ、挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音の画面毎に音声保存をおこないます。

【音声合成画面】

テキスト入力操作でメッセージ作成をする場合に選択します。



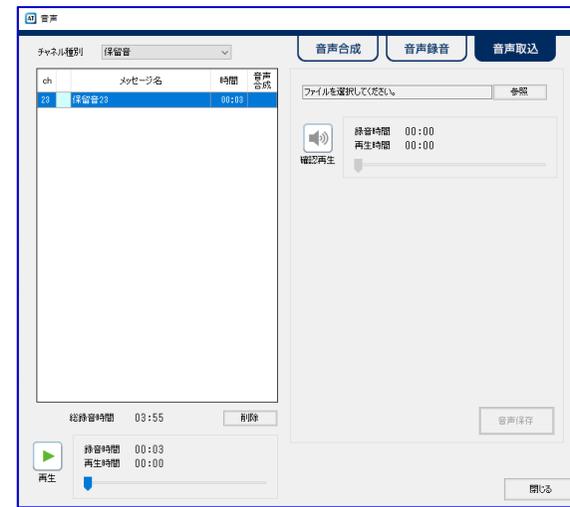
【音声録音画面】

制御用パソコンの録音機能を利用する場合に選択します。



【音声取込画面】

既存の音声データを利用する場合に選択します。



チャンネル種別にて編集する音声を選択します。

取込可能音声形式について

- μ -law 8ビット8,000Hz モノラル
- PCM 16ビット22,050Hz モノラル/ステレオ
- PCM 16ビット44,100Hz モノラル/ステレオ

スケジュール編集 (1/2)

編集 -スケジュール- (曜日スケジュール)

スケジュール編集画面より[日課パターン編集]操作にて曜日スケジュール、変動日スケジュール、祝日スケジュール、特定日スケジュールの順でデータを作成します。(登録月を含め20年間先まで登録可能です)

※変動日スケジュール、祝日スケジュール、特定日スケジュールについては、必要に応じて作成します。

各スケジュールを作成します。
[開始時刻][終了時刻][メッセージch]を各スケジュールに合わせて、最大20パターン(種類)作成が可能です。

【日課パターン一覧画面】

【日課パターン編集画面】

日課パターン一覧画面のスクリーンショット。設定欄にはパターン選択が6、パターン名が金曜日と表示されています。日曜日のスケジュールが黄色で表示されており、2chのメッセージが設定されています。日課パターン編集ボタンが赤い枠で囲まれています。



メッセージchを指定します。

ステップ	開始時刻	終了時刻	案内メッセージ
1	0:00	8:45	2ch: 業務終了B
2	8:45	17:30	停止
3	17:30	24:00	2ch: 業務終了B
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

編集 -スケジュール- (年間スケジュール)

年間を通じたスケジュールを設定します。事業所、お客様独自の休日など年月日を指定して通常の曜日スケジュールとは異なった運用をするときは特定日スケジュールを利用します。

作成した日課パターンを設定します。スケジュール登録操作にて[曜日][変動日][祝日][特定日]を選択後、[パターン選択]操作にて設定します。

【日課パターン一覧画面】

【日課パターン設定画面】

番号	毎週	パターン
1	毎週 日曜日	1: 日曜日
2	毎週 月曜日	2: 月曜日
3	毎週 火曜日	3: 火曜日
4	毎週 水曜日	4: 水曜日
5	毎週 木曜日	5: 木曜日
6	毎週 金曜日	6: 金曜日
7	毎週 土曜日	7: 土曜日
8	祝日	8: 祝日

各スケジュールに対応したパターンを登録します。

編集 -設定-

機能に関する設定および詳細設定ができます。

【編集画面】



機能設定を編集するときに「設定」ボタンをクリックします。機能設定画面にて従って操作します。

【機能設定画面】



【詳細設定画面】



機能設定 - 設定 -

応答するまでのベル回数やリモコンの設定が用途に応じて変更（登録）ができます。

【機能設定画面】

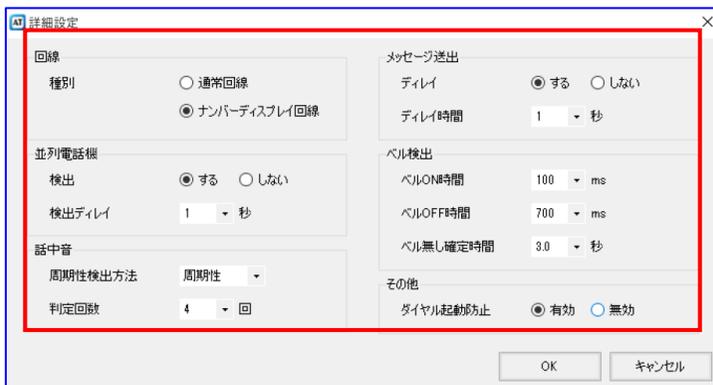


設定項目		内容
回線	応答までのベル回数	着信応答するまでの呼出音の回数を設定します。 ・ 初期値：1回、設定範囲：1～9回
	案内メッセージ送回数	繰り返し送出する案内メッセージの回数を設定します。 ・ 初期値：1回 設定範囲：1～9回
	案内メッセージ繰り返し間隔時間	案内メッセージを繰り返して送出する際の間隔時間（秒）を設定します。 ・ 初期値：1秒 設定範囲：1～5秒
	保留音繰り返し間隔時間	保留音を繰り返して送出する際の間隔時間（秒）を設定します。 ・ 初期値：1秒 設定範囲：0～5秒
	回線保留時間	着信に自動応答してからの回線開放するまでの最大時間（分）を設定します。 ・ 初期値：30分 設定範囲：1～100分
	待機時応答	応答モードが解除されている場合、固定メッセージ（※）が送出されるまでの時間を設定します。応答メッセージ送出中に暗証番号を入れるとリモコン操作が可能になります。また、回線に送出される対象の回線は [回線4] になります。 ・ 初期値：無効 設定範囲：無効/45秒/90秒
時刻修正	使用する/使用しない	ネットワーク上にNTPサーバがあるときはNTPサーバを使用して時刻修正ができます。ポタンクリックで設定します。
リモコン	暗証番号	本装置に電話をかけて案内メッセージの録音・再生や応答モードの切り替えなど各種のリモコン操作をするための暗証番号の設定ができます。リモコン操作をする際の暗証番号を設定します。 ・ 初期値：なし 設定範囲：半角数字、4～8文字

機能設定 - 詳細設定 -

電話回線の回線種別や並列電話機の検出方法、着信時のベル検出方法などの詳細についての設定変更ができます。

【詳細設定画面】



設定項目	内容	
回線 (種別)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常回線 ・ナンバーディスプレイ回線 <p>接続する電話回線の回線種別を設定します。 ・初期値：ナンバーディスプレイ回線、 ・設定範囲：通常回線/ ナンバーディスプレイ回線</p>	
並列電話機	検出	<p>本体装置が応答中に並列電話機が受話器を上げたとき、本体装置が回線を開放するかどうかを設定します。 本体装置を開放する場合は、「する」に設定します。 ・初期値：する 設定範囲：する/しない</p>
	検出ディレイ	<p>並列電話機の検出を開始するまでの遅延時間を設定します。 ・初期値：1秒 設定範囲：1秒/2秒/3秒 ※「並列電話機-検出」が「する」の場合に有効になります。</p>
話中音	周期性検出方法	<p>話中音の周期性の検出方法を設定します。 ・初期値：周期性 設定範囲：1秒周期/周期性</p>
	判定回数	<p>話中と判断する話中音の回数を設定します。 ・初期値：4回 設定範囲：4回/8回</p>
メッセージ送出	ディレイ	<p>本体装置が応答してから送出するメッセージを遅延させるかどうかを設定します。 ・初期値：する、設定範囲：する/しない</p>
	ディレイ時間	<p>本体装置が応答してからメッセージを送出するまでの時間を設定します。 ・初期値：1秒、設定範囲：1～15秒 ※「メッセージ送出-ディレイ」が「する」の場合に有効になります。</p>
ベル検出	ベルON時間	<p>着信のベル信号を判定するベルのON時間を設定します。 初期値：100ms 設定範囲：100ms/300ms/500ms/700ms</p>
	ベルOFF時間	<p>着信のベル信号を判定するベルのOFF時間を設定します。 初期値：700ms 設定範囲：100ms/300ms/500ms/700ms</p>
	ベル無し確定時間	<p>ベルが終了したと判断する時間を設定します。 初期値：3.0秒 設定範囲：2.5秒/3.0秒/3.5秒/4.0秒</p>
その他	ダイヤル起動防止	<p>ダイヤルパルスによる誤起動防止を設定します。 初期値：有効 設定範囲：有効/無効</p>

編集 -ファイル管理-

編集操作で作成したデータを保存する操作になります。ファイル管理操作として[SD書込][装置書込][印刷][ファイル保存]の4種類になります。

【編集画面】

[ファイル管理]ボタンをクリックするとファイル管理画面に移行します。



【ファイル管理画面】



「SD書込ボタン」

・作成したデータをSDカードに書き込みする場合にクリックし画面指示に従って操作します。

「装置書込ボタン」

・作成したデータを本装置に書き込みする場合にクリックし画面指示に従って操作します。

「印刷ボタン」

・作成したデータを印刷する場合にクリックし画面指示に従って操作します。

「ファイル保存ボタン」

・作成したデータを制御用パソコンに保存する場合にクリックし画面指示に従って操作します。

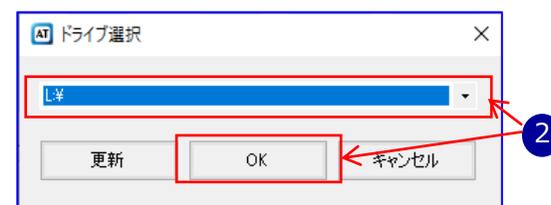
◆ ファイル管理-SD書込-

作成したデータはSDカードに書き込むことができます。

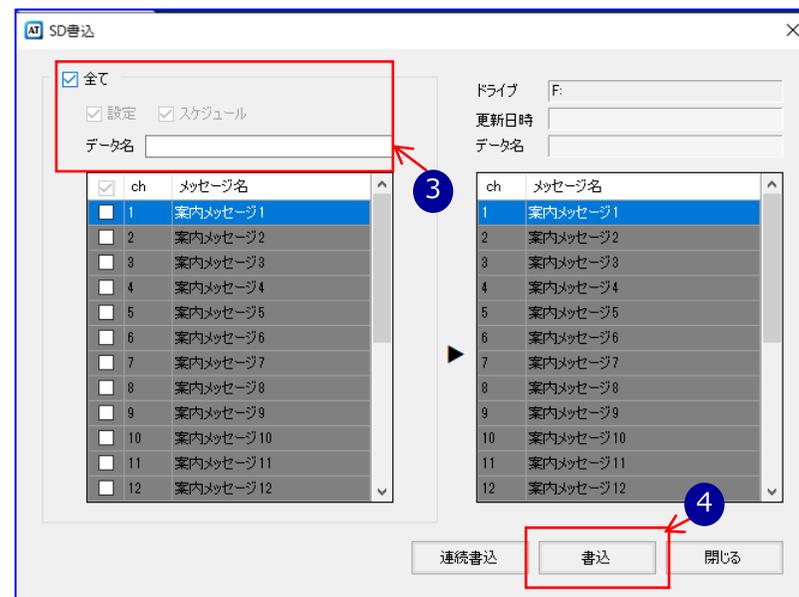
【編集画面】



【ドライブ選択画面】



【SD書込画面】



- ①データ作成後「編集画面」で「SD書込」ボタンをクリックします。
- ②「ドライブ選択画面」でSDカードが接続されているドライブを選択して「OK」ボタンをクリックします。
- ③「SD書込画面」にて書き込みするデータの（全て）（設定）（スケジュール）に必要なに応じてチェックを入れます。
- ④「書込」ボタンをクリックします。クリック後は、画面指示に従って操作します。

データ書き込み (3/4)

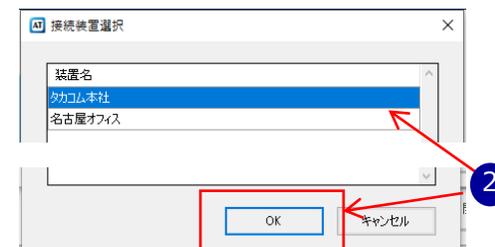
◆ ファイル管理-装置書込-

作成したデータをLAN経由で装置に書き込むことができます。(書き込み時は事前に装置情報の登録が必要になります)

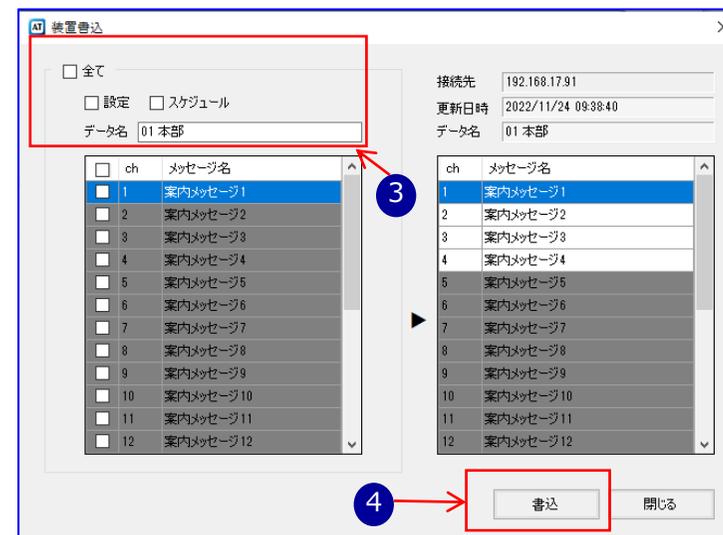
【編集画面】



【接続装置選択画面】



【装置書込画面】



- ①データ作成後「編集画面」〔装置書込〕ボタンをクリックします。
- ②「接続装置選択画面」装置先を選択して[OK]ボタンをクリックします。
- ③「装置書込画面」にて書き込みするデータの(全て)(設定)(スケジュール)に必要なに応じてチェックを入れます。
- ④〔書込〕ボタンをクリックします。クリック後は、画面指示に従って操作します。

データ書き込み (4/4)

◆ ファイル管理-ファイル保存-

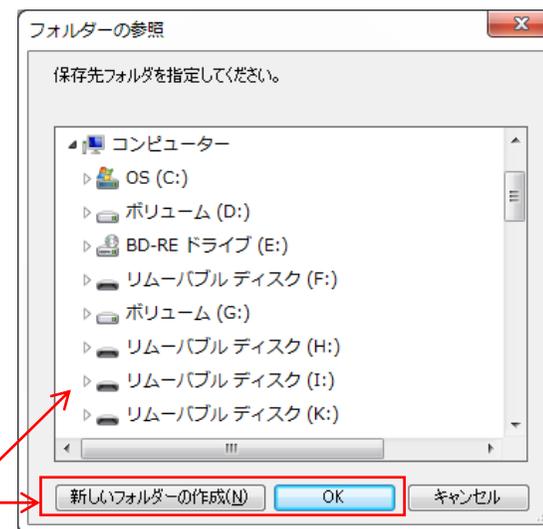
編集中の各種データを、USBメモリや成語用パソコン、事前に割り当てたネットワークドライブなどに保存できます。

【編集画面】



- ①データ作成後「編集画面」〔ファイル保存〕ボタンをクリックします。
- ②「フォルダ参照画面」にて〔保存先を指定して〕または、〔新しいフォルダの作成〕して〔OK〕ボタンをクリックします。クリック後は、画面指示に従って操作します。

【フォルダ参照画面】



「保存フォルダについて」
保存指定したフォルダ内に下記のデータが作成、保存されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
MSG	2022/12/16 16:21	ファイル フォルダ	
at-4000n.db	2022/12/13 15:56	Data Base File	376 KB
VoiceCreateDic.csv	2022/09/12 17:32	Microsoft Excel CSV ファイル	0 KB
VoiceSentence.xml	2022/09/08 14:31	XML ドキュメント	5 KB

◆装置情報設定

本装置の装置情報を登録したり、入力ソフトの各種バージョンが確認できます。本装置は最大10台登録できます。LAN経由で運用の場合に設定が必要な項目となります。

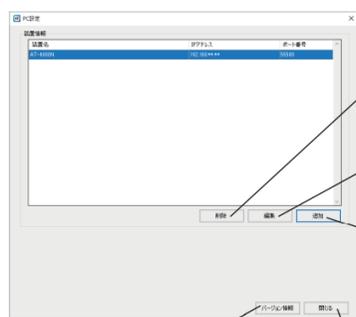
【PC設定画面の表示】

- ① メイン画面の [PC 設定] ボタンをクリックします。



クリックします。

【PC 設定画面】



[削除]
ボタン

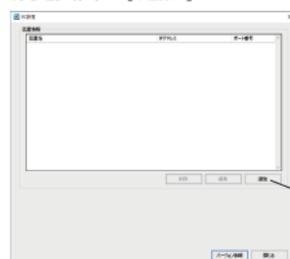
[編集]
ボタン

[追加]
ボタン

[バージョン情報] [閉じる] ボタン

【装置情報の追加】

- ① PC 設定画面の [追加] ボタンをクリックします。



・装置情報登録画面が表示されます。

- ② 本装置の装置名、IP アドレス、ポート番号を入力して、[LAN 接続テスト] ボタンをクリックします。



・ [接続状態] 表示欄に接続状態が表示されます。

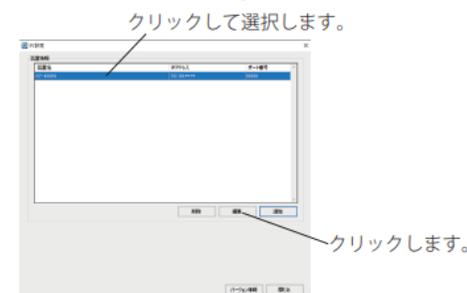
- ③ 接続状態が「接続成功」であることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。



クリックします。

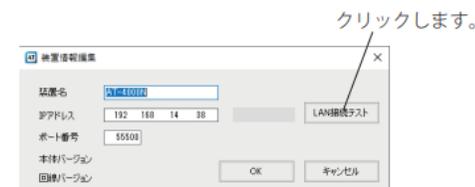
【装置情報の編集】

- ① PC 設定画面で修正する本装置を選択して、[編集] ボタンをクリックします。



・装置情報編集画面が表示されます。

- ② 修正する項目を編集して、[LAN 接続テスト] ボタンをクリックします。



※ IP アドレスが「192.168.14.38」の例

・ [接続状態] 表示欄に接続状態が表示されます。

- ③ 以降は「装置情報の追加」と同様です。

本体操作 (電源投入/SDカード挿入/年月日時刻設定について)

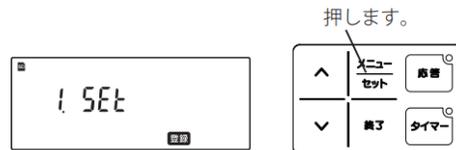
専用電源アダプタを使用して電源を投入し、作成したSDカードを挿入します。
ボタン操作にて、内蔵の時計に現在の年月日付と時刻を登録します。時計を登録すると、用件が録音された日付と時刻(タイムスタンプ)をディスプレイに表示したり、タイマーで自動的に留守セットをするなどができます。例) : 2021年6月18日14時40分に合わせます。
下記1~8項を本装置のボタン操作で設定をおこないます。

1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



・メニュー画面(登録)が表示されます。

2 **メニュー/セット** を押します。



・機能番号選択表示になります。

3 **メニュー/セット** を押します。



・年が点滅します。

4 **↑** や **↓** を押して、年を合わせます。



・年が点滅します。

5 **メニュー/セット** を押します。



・月が点滅します。

6 手順4, 5を繰り返して、月・日・時・分を合わせます。



・対象箇所が点滅します。

7 **メニュー/セット** を押します。



・「ピー」となって年月日・時刻が登録されます。
・機能番号選択表示になります。

8 **終了** を2回押します。



・待機画面が表示されます。



・曜日は自動表示されます。

ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：西暦 2000年～2099年
月：1月～12月
日：1日～31日(年月に対応した最大日)
時：00時～23時の24時間制
分：00分～59分
- お買い上げ時は、当日の年月日・時刻を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。

本体操作 (装置情報の登録)

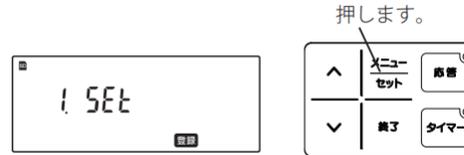
制御用パソコンにインストールされた入カソフトとネットワーク経由で通信する場合に使用します。
IPアドレスを設定したりできます。 例) : IPアドレスが192.168.14.38の場合

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



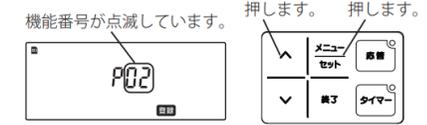
・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **メニュー/セット** を押します。



・機能番号選択表示になります。

- 3 **↑** を押して、機能番号 02 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



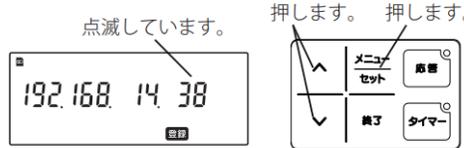
・「IP アドレス」の登録画面になります。
(初期値：192.168. 0.150)
・第1オクテットが点滅します。

- 4 **↑** や **↓** を押して、「第1オクテット」を更新して、**メニュー/セット** を押します。



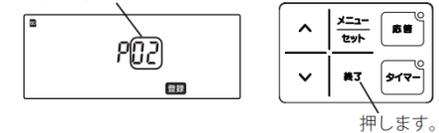
・第2オクテットが点滅します。

- 5 同様に「第2→第3→第4オクテット」の順に登録します。



・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

- 6 **終了** を2回押します。
機能番号が点滅しています。



・自動で本装置が再起動されます。
・再起動後に待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順6で **↑** や **↓** を押して、機能番号を変更することで、サブネットマスクやゲートウェイ、ポート番号が変更できます。

AT-4000N主な仕様(1/2)

4回線音声応答装置
AT-4000N

項目		仕様
電話回線	収容回線	最大4回線
	回線種別	アナログ一般回線
	接続方式	モジュラー接続
	直流抵抗値	270Ω
メッセージ	作成方法	音声合成、マイク録音、音声ファイル取込
	録音方式	PCM 8kHz 16bit モノラル
	メッセージ数	案内メッセージ：20チャンネル 挨拶メッセージ：1チャンネル 終了メッセージ：1チャンネル 保留音：1チャンネル
	録音時間	最大100分（全チャンネル合計）
データ登録	ソフトウェア	AT-4000Nデータ入力ソフト（添付品）
	記憶媒体	SDカード※
プログラムタイマー	1日パターン	最大20種類
	登録ステップ数	最大25ステップ（パターン毎）
	曜日スケジュール	日～土の曜日指定、月～金の期間指定/月～土の期間指定
	変動日スケジュール	第1～第5の曜日指定
	祝日スケジュール	国民の祝日、国民の休日、振替休日、予備日 8日 （春分の日、秋分の日自動計算、ハッピーマンデー対応）
	特定日スケジュール	範囲指定（最大1か月間）、毎年、毎月
	有効期間	登録した月より20年

※添付されているSDカードを使用してください。

ただし、別のSDカードを使用する場合は、以下の条件のカードを使用してください。

- ・容量：1GB～32GB（容量の違いでメッセージの録音可能時間は変わりません）
- ・UHS-I、UHS-II

すべてのSDカードを保証するものではありません。正しく認識できない場合は、別のSDカードをお使いいただけますようお願いいたします。

◆ 制御用パソコンの推奨仕様

項目	内容
OS	Microsoft Windows 11/10 日本語版 ※Windows 11/10 (Sモード) は対象外となります
CPU	OSが推奨する環境以上
メモリ	2GB以上
ハードディスク	1.3GB以上の空き容量
サウンド	Waveファイルが再生できること
ディスプレイ	1024×768以上 High Color (16bit) 以上
DVDドライブ	DVDが読めること (データ入カソフト インストール用)
SDカードスロット	SDカードの読み書きができること (データ作成用)
ネットワーク(LAN)	TCP/IPでLAN/WAN接続ができること

営業所名	住所・電話番号	担当地区
東京支店	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-9-8 (Daiwa日本橋堀留町ビル3F) 電話 03-5651-2281	関東地区、甲信越地区、 北陸地区
札幌出張所	〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目4-167 小六第一ビル 電話 011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-10 (EARTH BLUE仙台勾当台1F SEED21内) 電話 022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中種区内山3-10-17 (今池セントラルビル8F) 電話 052-734-6601	中部地区、静岡県
大阪営業所	〒542-0081 大阪市中央区南船場2-5-8 (長堀コミュニティビル4F) 電話 06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 (第3ウエノヤビル10F) 電話 082-836-3631	中国地区、四国地区
福岡営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10 (南近代ビル9F) 電話 092-431-1942	九州地区、沖縄県

URL: <https://www.takacom.co.jp>

- ・商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・画面構成、機能などの仕様は予告なく変更することがあります。